

同じ人について言う

～「誰が」「誰の」を表す 1 語～



学習のポイント

- the を使って特別なものであることを表現できる
- he や she を使って同じ人について繰り返し話ができる
- his や her を使って誰のものかを表現できる

英語監修・執筆 **鳥飼慎一郎**

theを使って特別なものであることを表現できる

Please bring a chair.

Please bring the chair.

英語では、「どれでもいい」あるいは「なんでもよい」という感覚と、「あれでなければだめだ」あるいは「あの物について言っているのだ」という2つの感覚があります。

上の2つの文の最初のほうは、「椅子ならどれでもいい、どれをととは言わないので、1脚持ってきてほしい」という意味です。この感覚を表しているのが **a** という語です。以前も学習しましたが、この語は元々は数字の1を表す **one** であったものが、弱く発音されて **an** になりました。さらに、**a** になり、アイウエオ以外の音で始まる語の前に付けられ、「1つの」という意味で使われるようになりました。ですから、「1つであればどれでもいいので」という感覚があり、上記の例でも「椅子1脚どれでもいいので持ってきてください」という意味で使われています。もしも、「どの椅子でもいいから3脚持ってきてください」というのであれば、**Please bring three chairs.** となります。**a** は1つと言う意味ですので、この場合は使わずに、3を表す **three** を使い、**chairs** と2脚以上であることを示す **-s** を **chair** の後に付けて使います。

一方、2番目の文は、「あの椅子を持ってきてください」という意味です。これを言うほうも言われたほうも特定の椅子のことを指しているのだというかわかります。この感覚は **the** という語が表わす感覚です。この **the** は、遠くにある物を指して「あれ」という意味の **that** から来ました。そのため、どれであるのかを指し示す働きがあり、既に話題に上っていて話しているほうも、それを聞いているほうも共通して「あの椅子だな」とすぐに了解できる椅子を指していることがわかります。

■単語や表現

英語では、科目名を短くして言うことがあります。

今回のレッスンでも数学のことを**math**と言っています。数学は正式には**mathematics**と言いますが、長いので最初の4文字を取って**math**と一般には呼びます。数学の先生でしたら、**math teacher**です。面白いのが**体育**です。体育は正式には**physical education**と言います。直訳すると肉体の教育という意味ですが、これも長いので、両方の語の最初の文字を取って、**PE**と呼んでいます。体育のクラスは、**PE class**と言います。

試験は**examination**と言いますが、これも長いので**exam**と言います。期末試験なら**final exam**、中間試験なら**midterm exam**と言います。

heやsheを使って同じ人について繰り返し話ができる

hisやherを使って誰のものかを表現できる

■英語の決まり

英語では一度出てきた人や物を繰り返すときは、簡略化された表現を使って表します。

今回のレッスンでも以下のようなやり取りがあります。

Ryo : Who is this lady?

Hina: Naomi. She is our leader.

Ryo: Is she here now?

亮に「この女性はだれ」と聞かれた日梨は、「直美」と答えます。その直後に日梨は、**She is our leader.**と会話を続けます。この**She**は直美のことを指しています。もちろん、**Naomi is our leader.**と言ってもいいのですが、同じ**Naomi**を繰り返し使うとしつこく感じます。誰について言っているのかわかっているのですから、**Naomi**の代わりに**she**を使います。その後で亮が、**Is she here now?**と聞いています。この**she**も**Naomi**のことです。

ここでも**Is Naomi here now?**と言ってもいいのですが、同じ**Naomi**を繰り返すのではなく、**she**を使って表す方が一般的です。

Naomiは女性なので**she**を使って表しますが、上記の会話を以下のように男性の**Philip**で書き換える場合は、**he**を使って言い表します。

Ryo : Who is this man?

Hina: Philip. He is our leader.

Ryo : Is he here now?

2回使われている**he**はどれも**Philip**のことを指しています。

同じようなことが、「誰々の物」という表現でも当てはまります。「直美のお弁当箱」は、**Naomi's lunchbox**ですが、次に出てきたときには**Naomi's lunchbox**を**her lunchbox**と言い変えることができます。

Ryo : Hina, is this your lunchbox?

Hina: No. This is Naomi's lunchbox. That is her lunchbox too.

この会話では、日梨が「これは直美のお弁当箱です。あれも直美のお弁当箱です」と言っています。日本語の訳では、向こうにあるお弁当箱を「直美のお弁当箱」と名前を繰り返し使っていますが、英語ではherを使って、直美のお弁当箱であることを表しています。フィリップのように男性の物であることを言うときには、hisを使います。前述の会話も、以下のようになりますが、もちろんhis towelはPhilip's towelの意味で使われています。

Hina : Is this Ryo's towel?

Ryo : No. This is Philip's towel. That is his towel too.

ここで、「誰々の」という表現をまとめておきましょう。

私のスケッチブック	<u>my</u> sketchbook
あなたのスケッチブック	<u>your</u> sketchbook
私たちのスケッチブック	<u>our</u> sketchbook
(自分や相手以外の) 女性のスケッチブック	<u>her</u> sketchbook
(自分や相手以外の) 男性のスケッチブック	<u>his</u> sketchbook

column

アルファベットと発音 ⑦

M m

エムと発音します。エを言った直後に口を閉じて鼻から息を出して発音します。May は、メイと言うように、最初のメを長めに発音するとよいでしょう。

May (5月) は草木がどんどんと成長する季節ですが、英語の May も、成長を表す「Maia の月」という意味から来ています。5月の第2日曜日は母の日 Mother's Day です。

